

令和4年度第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会

埼玉医科大学における 県と連携した肝炎対策の取り組み

埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科

内田 義人



埼玉医科大学病院内における取り組み

埼玉県との連携

埼玉県内医療機関との連携



埼玉医科大学病院



病床数：965床

肝疾患診療連携拠点病院

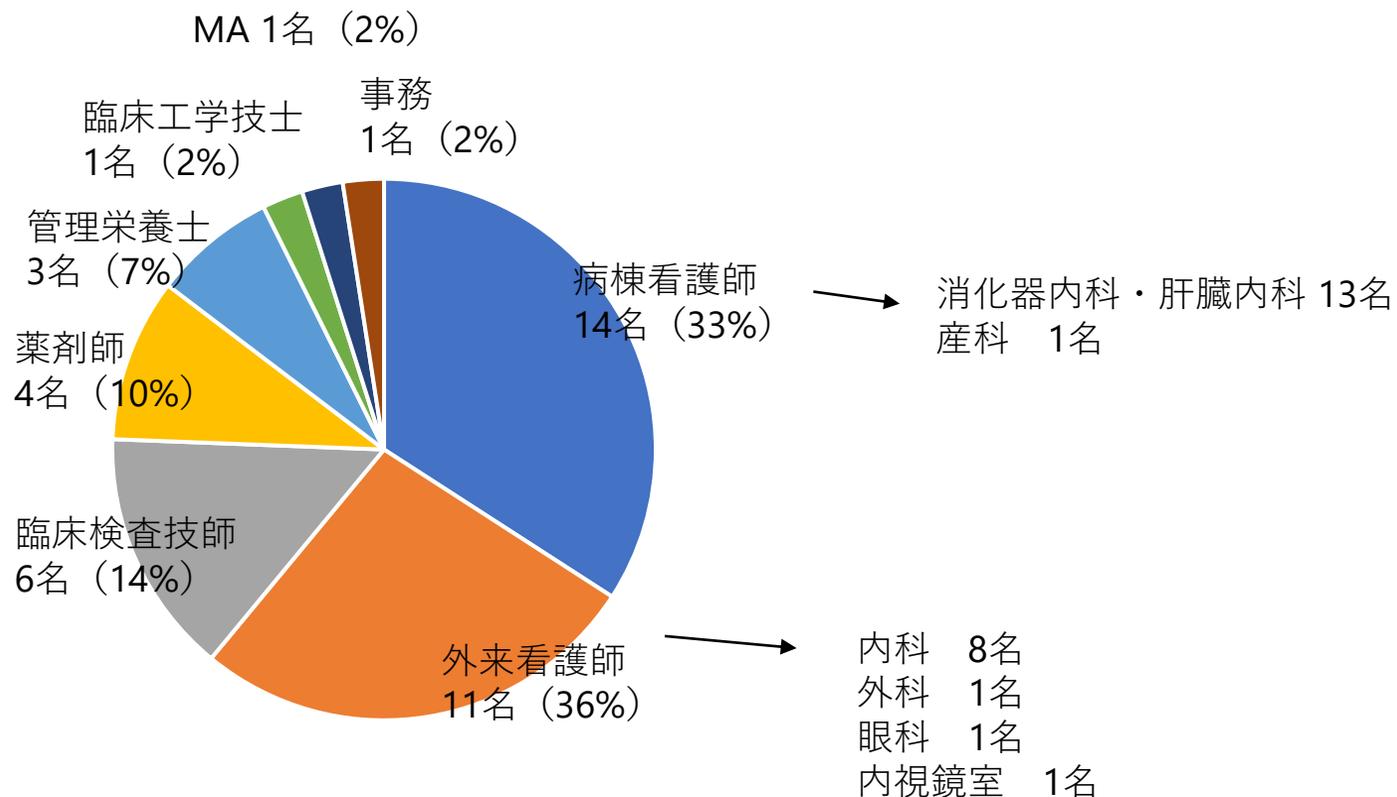
平成20年3月1日付で指定



2022年4月1日時点

肝炎Co 41名

(医療Co 38名、地域Co 1名、医療+地域Co 2名)



肝炎Coの存在をアピール



肝炎コーディネーター
ここにいます！
なんでもご相談
ください。

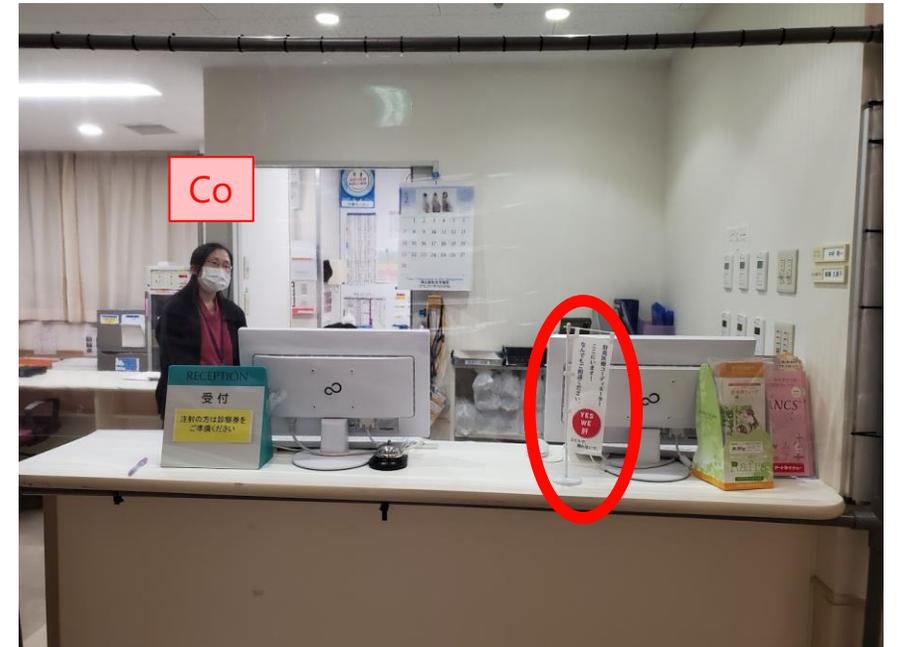


厚生労働行政推進調査「非ウイルス性を含めた肝疾患のトータルケアに資する人材育成等に関する研究」
代表：江口有一郎 先生

当院の肝炎Coの活動

- 患者さんの相談（対面・電話）
- 助成制度の説明・申請補助
- 肝臓病教室
- スタッフ勉強会
- Coマニュアル作成

中央治療センター



肝臓病教室の開催

平成24年7月28日に第1回 肝臓病教室を開催。テーマはC型肝炎。

場所：院内の会議室または講堂

開催日時：土曜日の午前10時開始（約120分）

参加者：当院通院患者とその家族。参加は原則1回。リピーターなし。

テーマ：「C型肝炎」，「B型肝炎」，「肝硬変」，「脂肪肝」
「自己免疫性肝疾患」

原則として1～2ヵ月に1回の頻度，年に6回開催。

肝炎医療コーディネーターの資格を持つ
医師，臨床検査技師，薬剤師，看護師，管理栄養士，医療事務
が順に発表していく



肝臓病教室 (会場 + Zoom ウェビナー)



第51回 肝臓病教室

自己免疫性肝炎 原発性胆汁性胆管炎 原発性硬化性胆管炎

日時 2020年10月24日(土) 午前10時~12時
会場 埼玉医科大学本部棟B1F 第4講堂

こんな質問にお答えします!

- 病気の基本的な事が知りたい
- 遺伝するの?
- 薬はずっと飲まなきゃいけないの?
- 新型コロナに感染したら重症化する?

先着20組
ご家族同伴も
歓迎します

などなど、何でもOK!

☆当日は新型コロナウイルス感染拡大に配慮して開催させていただきます。
以下の通り、ご参加者様のご協力をお願いします。※中止になる可能性があります。
あらかじめご了承ください。

ライブ配信ははじめました!

参加をご希望の方は下記よりお申込みください
YouTubeはこちら↑ Zoomはこちら↑

肝臓病相談センター TEL 049-276-2038
又は 中央治療センターでお声がけください
※お電話の受付は平日9:00~16:00になります。
日本肝臓学会 共催

第53回 肝臓病教室

B型肝炎

日時: 1月30日(土) 10時~12時
会場: 埼玉医科大学
本部棟地下1階 第4講堂

医師 薬剤師 検査技師 看護師 栄養士

それぞれの職種から、B型肝炎について詳しくお話しします!!

会場では感染予防に努め、消毒やマスク着用にご協力をお願いします。
お席はソーシャルディスタンスを守り、間隔をあけてご用意します。
※感染状況によっては会場の開催を中止し、オンラインのみの開催になる
可能性があります。予めご了承ください。

当日はZoomにてオンライン配信も行います。
Zoomアプリをダウンロードしてから
右記QRコードを読み取ってご参加ください

お申込みは
中央治療センターへお声がけいただくか
肝臓病相談センター (049-276-2038)までご連絡下さい。

第54回 肝臓病教室

脂肪肝

3月13日(土) 10~12時
埼玉医科大学本部棟地下1階
第4講堂

入場無料
申込制
20組限定!

会場では感染予防のため
消毒やマスク着用にご協力をお願いします。
お席はソーシャルディスタンスを守り
間隔をあけてご用意します。
※感染状況によっては会場の開催を中止し、
オンラインのみの開催になる場合があります。
予めご了承ください。

☆当日はZoomによるオンライン配信を実施します。
ステイホームで“脂肪肝”について勉強しよう →

☆お申込みは
中央治療センターへお声がけいただくか
肝臓病相談センター (049-276-2038)までご連絡下さい。

2021年3月13日（土）
肝臓病教室 テーマ：脂肪肝

予定：会場 + Zoomウェビナー



申込み 25名
(会場19名、Web 6名)

緊急事態宣言の延長により、会場を中止し全面ウェブ開催に変更

参加断念し、次回に参加 16名
67歳、71歳、75歳、77歳、80歳、70歳、
72歳、72歳、75歳、77歳、70歳、74歳
平均 73歳

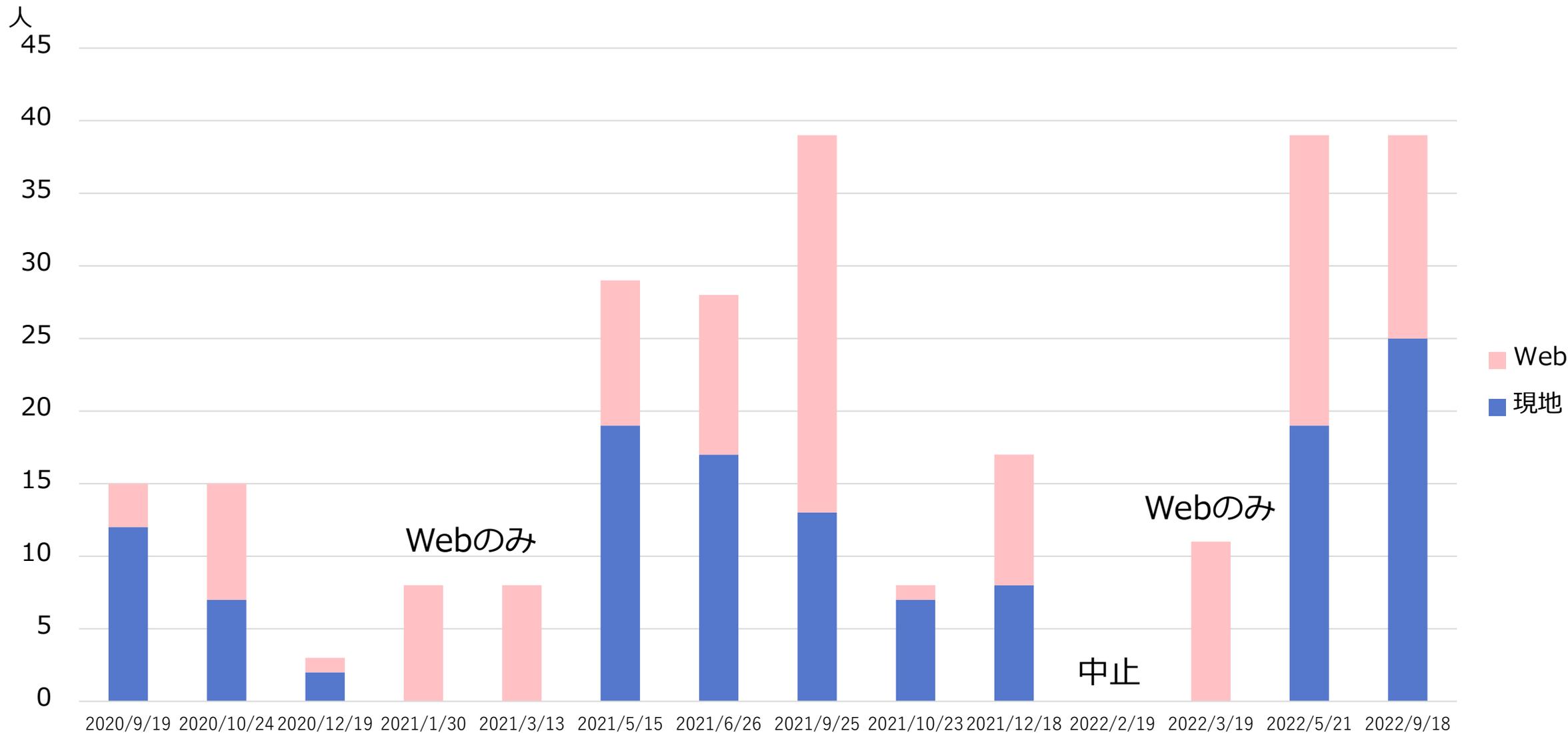
ウェブに変更 3名
45歳、63歳、60歳
平均 56歳

初めからウェブで参加申し込み 6名
50歳、64歳、62歳、38歳、68歳、70歳
平均 59歳

70歳以上では、ウェブ参加に限界？

現在の方針：会場での参加も可能とするハイブリッド開催を原則とする。

オンライン開催開始後の肝臓病教室の参加者の推移



肝臓病教室 令和4年度開催予定

6回予定		開催時間	利用目的	会場	テーマ
2022年5月21日	土	10：00～12：00	肝臓病教室	埼玉医科大学 第4講堂	脂肪肝
2022年9月17日	土	10：00～12：00	肝臓病教室	埼玉医科大学 第4講堂	自己免疫性 肝疾患
2022年10月15日	土	10：00～12：00	肝臓病教室	埼玉医科大学 第4講堂	肝硬変
2022年12月17日	土	10：00～12：00	肝臓病教室	埼玉医科大学 第4講堂	脂肪肝
2023年2月18日	土	10：00～12：00	肝臓病教室	埼玉医科大学 第4講堂	B 型肝炎
2023年3月18日	土	10：00～12：00	肝臓病教室	埼玉医科大学 第4講堂	C型肝炎

埼玉医科大学病院内における取り組み

埼玉県との連携

埼玉県内医療機関との連携



埼玉県

事業委託



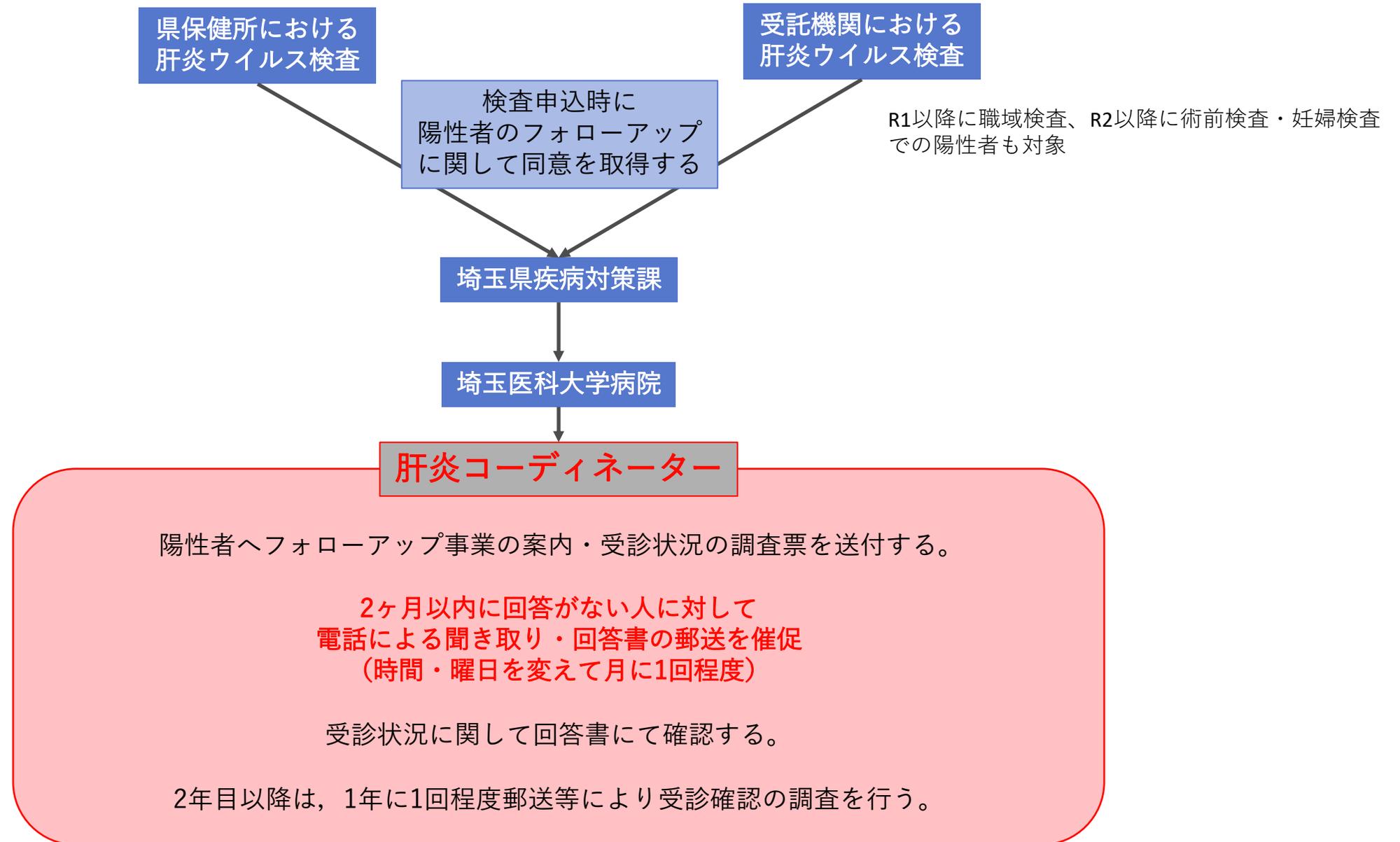
密な連携



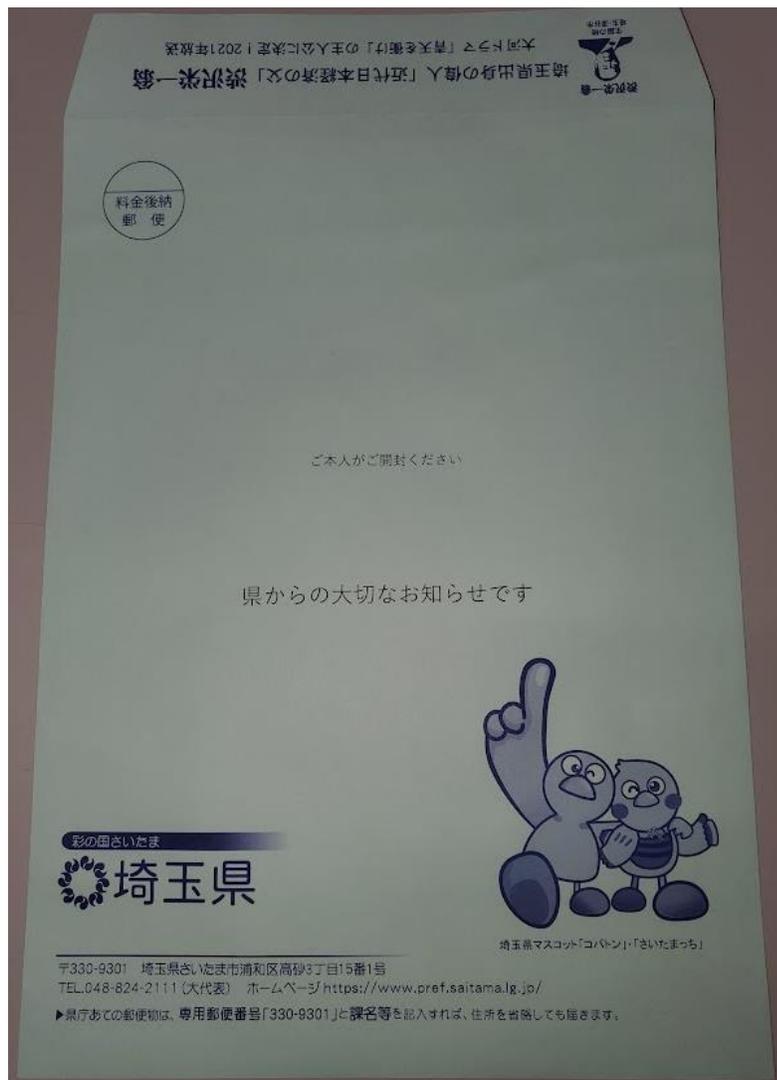
埼玉医科大学病院：肝疾患診療連携拠点病院

- ①肝疾患 相談業務
- ②埼玉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業
陽性者フォローアップ
- ③肝炎医療研修会（肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会・埼玉県医師会の共催）
- ④市民公開講座・出張肝炎検査
- ⑤肝疾患診療連携病院 HP 掲載施設 情報更新
- ⑥肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の開催

埼玉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業陽性者フォローアップ事業



埼玉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業陽性者フォローアップ事業



調査票

HBV用

別紙様式 5-3

医療機関の受診状況に関する調査票

氏名: _____ 記入年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日
 住所: 〒 _____ TEL: _____

●問1～5までの該当する項目に☑をつけて、必要事項を記入してください。

問1 肝炎ウイルス検査で“B型肝炎”と判定されてから、精密検査を受けましたか？

はい → 医療機関名: _____

いいえ → 多忙のため 交通手段がない 支払いが心配 または 困難

その他 → 理由: _____

問2 上記の精密検査で、何と診断されましたか？

無症候性キャリア 慢性肝炎 肝硬変 既往感染

問3 「肝がんがある」と言われましたか？

はい いいえ

問4 現在、または今後の治療内容は？ ※複数回答可

核酸アナログ製剤(飲み薬) インターフェロン(注射) 経過観察

肝がん治療 その他 _____

問5 次回の診察予定日はありますか？

ある → 診察予定日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

ない → 医師から必要ないと言われた なんとなく

その他 → 理由: _____

ご協力ありがとうございました。

※フォローアップの同意を取り消したい方は下記に☑を入れてください。
 同意を取り消すと埼玉県が実施する肝炎検査費用助成制度(初回精密・定期検査)は受けられなくなりますのでご注意ください。
 フォローアップ同意の取り消し

HCV用

別紙様式 5-1

医療機関の受診状況に関する調査票

氏名: _____ 記入年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日
 住所: 〒 _____ TEL: _____

●問1～5までの該当する項目に☑をつけて、必要事項を記入してください。

問1 肝炎ウイルス検査で“C型肝炎”と判定されてから、精密検査を受けましたか？

はい → 医療機関名: _____

いいえ → 多忙のため 交通手段がない 支払いが心配 または 困難

その他 → 理由: _____

問2 上記の精密検査で、何と診断されましたか？

無症候性キャリア 慢性肝炎 肝硬変 既往感染

問3 「肝がんがある」と言われましたか？

はい いいえ

問4 現在、または今後の治療内容は？ ※複数回答可

インターフェロンフリー(飲み薬) インターフェロン(注射) 経過観察

肝がん治療 その他 _____

問5 次回の診察予定日はありますか？

ある → 診察予定日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

ない → 医師から必要ないと言われた なんとなく

その他 → 理由: _____

ご協力ありがとうございました。

※フォローアップの同意を取り消したい方は下記に☑を入れてください。
 同意を取り消すと埼玉県が実施する肝炎検査費用助成制度(初回精密・定期検査)は受けられなくなりますのでご注意ください。
 フォローアップ同意の取り消し

厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業「新たな手法を用いた
 肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究」
 代表 是永匡紹 先生

埼玉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業陽性者フォローアップ事業

HBV	陽性者数	同意者	同意率	初回確認時			再勧奨後			最終 受診確認	同意者 最終受診率	陽性者のうち 受診確認率
				受診数	未確認	初回の 受診率	受診数	未確認	再勧奨後 受診率			
H27	27	21	77.8%	12	9	57.1%	3	6	33.3%	15	71.4%	55.6%
H28	12	10	83.3%	2	8	20.0%	0	8	0%	2	20.0%	16.7%
H29	24	15	62.5%	7	8	46.7%	0	8	0%	7	46.7%	29.2%
H30	24	13	54.2%	8	5	61.5%	0	5	0%	8	61.5%	33.3%
R1	—	6	—	2	4	33.3%	3	1	75.0%	5	83.3%	—
R2	—	11	—	7	4	63.6%	1	3	25.0%	8	72.7%	—
R3	—	10	—	5	5	50.0%	—	—	—	—	—	—
計 (R2まで)	—	76	—	38	38	50.0%	7	31	18.4%	45	59.2%	—

R1以降に職域検査、R2以降に術前検査・妊婦検査での陽性者も対象となったため陽性者数の総数は不明。

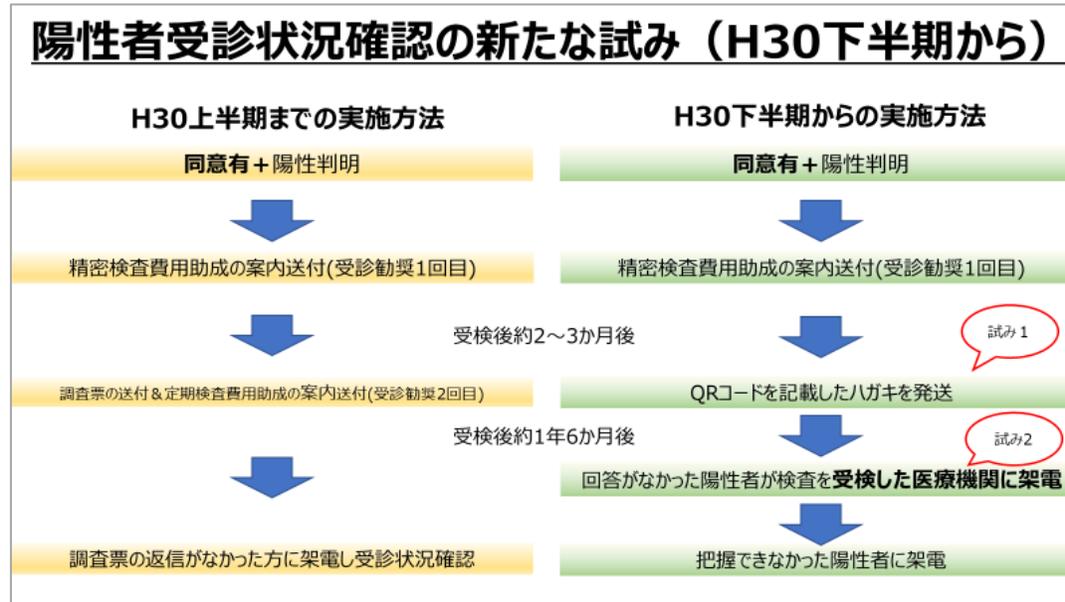
埼玉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業陽性者フォローアップ事業

HCV	陽性者数	同意者	同意率	初回確認時			再勧奨後			最終 受診確認	同意者 最終受診率	陽性者のうち 受診確認率
				受診数	未確認	初回の 受診率	受診数	未確認	再勧奨後 受診率			
H27	27	22	81.5%	13	9	59.1%	4	5	44.4%	17	77.3%	63.0%
H28	16	11	68.8%	7	4	63.6%	1	3	25.0%	8	72.7%	50.0%
H29	15	9	60.0%	6	3	66.7%	0	3	0.0%	6	66.7%	40.0%
H30	10	9	90.0%	5	4	55.6%	0	4	0.0%	5	55.6%	50.0%
R1	—	3	—	2	1	66.6%	1	0	100%	3	100%	—
R2	—	10	—	7	3	70.0%	1	2	33.3%	8	80.0%	—
R3	—	14	—	9	5	64.3%	—	—	—	—	—	—
計 (R2まで)	—	64	—	40	24	62.5%	7	17	29.2%	47	73.4%	—

R1以降に職域検査、R2以降に術前検査・妊婦検査での陽性者も対象となったため陽性者数の総数は不明。

陽性者の受診確認率向上のための新たな試み

令和3年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議：川崎市の取り組み



受診確認率 UP!

川崎市・今井様，是永先生よりスライド供与



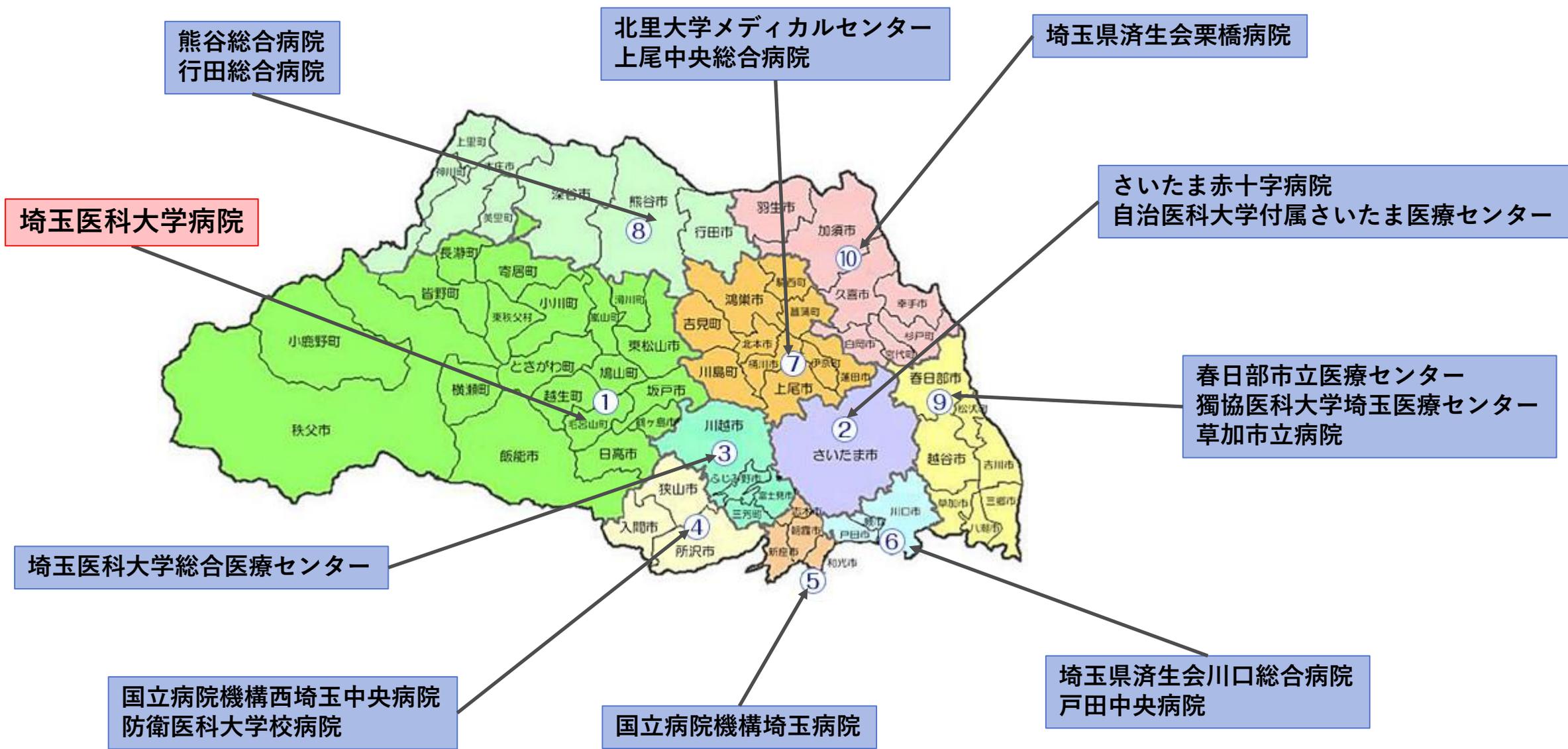
令和4年度から埼玉県においても、初回の調査票の回答のない陽性者に対して検査受検医療機関への電話問い合わせを開始。

埼玉医科大学病院内における取り組み

埼玉県との連携

埼玉県内医療機関との連携

肝疾患診療連携拠点病院及び病院ネットワーク



各医療圏に1つ以上の地区拠点病院を配置（計17病院）

毎年4月に肝臓専門医が勤務する医療機関でアンケートを実施

肝疾患におけるHP掲載内容についてのアンケート

4/30(土)
〆切り

①【実施可能な治療や検査】下記表の該当へ✓をご記入下さい

DAA経口治療	肝切除	
リバリンベグインターフェロン療法	エタノール注入療法 (PEIT)	
インターフェロン単独療法	ラジオ波・マイクロ波焼灼療法(RFA/MCN)	
核酸アナログ療法	肝動注化学塞栓療法(TACE/TAE)	
静注用グリチルリチン製剤	動注リザーバー療法	
肝不全用特殊組成アミノ酸輸液製剤	分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬	
瀉血	高精度放射線治療	
上部消化管内視鏡検査	緩和ケア	
超音波検査	胃食道静脈瘤の内視鏡的治療(EVL/EIS)	
造影超音波検査	胃食道静脈瘤の血管内介入治療 (BRTO)	
単純CT検査	経頸静脈肝内門脈大循環短絡術 (TIPS)	
造影CT検査	トルバブタン導入	
単純MRI検査	腹水穿刺排液	
造影MRI検査 (EOB・SPIO)	腹水濃縮再静注法 (CART)	
MRエラストグラフィ	腹腔静脈シャント	
肝硬度測定	セカンドオピニオン	
PET検査	肝疾患の栄養指導	
血管造影検査 (AG)	肝臓病教室	院内外可 ・ 院内のみ ・ なし
肝生検		

②【HP掲載について】 継続 ・ 削除 ※該当する方へ○

※削除希望の場合は理由をご記入ください

③【日本肝臓学会専門医の人数】 _____ 名 (うち常勤 _____ 名)

④【埼玉県肝炎医療研修会修了医の人数】 _____ 名 (うち常勤 _____ 名)

※埼玉県肝炎医療研修会修了医とは・・・年に1回、医療従事者向けに行っている「肝炎医療研修会」の受講修了者

⑤【埼玉県肝炎医療コーディネーター】 _____ 名

⑥【埼玉県肝炎地域コーディネーター】 _____ 名

裏面へ

	R2	R3	R4
送付数	171	181	184
返信数	150	154	154
返信率	88%	85%	82%

質問項目：

施設で実施可能な医療行為
肝臓病教室開催の有無
専門医の人数
肝炎Coの人数
など

肝疾患診療連携拠点病院及び病院ネットワーク

<http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/outline/liver2.html>

●埼玉県肝疾患診療連携拠点病院

更新

埼玉医科大学病院

教室：院内外可 肝

●所在地

〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38

●電話番号

049-276-2034 (消化器内科・肝臓内科 外来)

●責任者

持田 智 (教授、消化器内科・肝臓内科)

DAA経口	○	ハゲリバ	○		
IFN単独	○	核酸アナログ	○	GIF	○
US	○	造影US	○	CT	○
造影CT	○	MRI	○	造影MRI	○
MRE	×	イラストグラフィ	○	PET	○
AG	○	肝生検	○	肝切除	×
PEIT	○	RFA	○	TACE	○
動注リガザール	×	分子標的薬	○	高精度放射線治療	○
BSC	○	TIPS	○	EV	○
BRTO	○	トリアプトン	○	腹水排液	○
CART	×	グリチルリチン製剤	○		
寫血	○	アミノ酸輸液製剤	○		
専門医数	14	腹腔静脈シャント	○		
認定医数	5	セカンドオピニオン	○		
コーディネーター数 ※	34	肝疾患の栄養指導	○		

※うち地域 3

●担当地域

毛呂山町、越生町、鳩山町、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市(西部第2)、東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、東秩父村(比企)、秩父市、小鹿野町、横瀬町、皆野町、長瀬町(秩父)、寄居町(大里)

157施設掲載 (2022年9月1日現在)
HPは年に1回更新



毎年4月に肝臓専門医が勤務する医療機関でアンケートを実施

肝疾患におけるHP掲載内容についてのアンケート

4/30(土)
〆切り

①【実施可能な治療や検査】下記表の該当へ〆をご記入下さい

DAA経口治療	肝切除	
リバビリンペグインターフェロン療法	エタノール注入療法 (PEIT)	
インターフェロン単独療法	ラジオ波・マイクロ波焼灼療法 (RFA/MCN)	
核酸アナログ療法	肝動注化学塞栓療法 (TACE/TAE)	
静注用グリチルリチン製剤	動注リザーバー療法	
肝不全用特殊組成アミノ酸輸液製剤	分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬	
瀉血	高精度放射線治療	
上部消化管内視鏡検査	緩和ケア	
超音波検査	胃食道静脈瘤の内視鏡的治療 (EVL/EIS)	
造影超音波検査	胃食道静脈瘤の血管内介入治療 (BRTO)	
単純CT検査	経頸静脈肝門脈大循環短絡術 (TIPS)	
造影CT検査	トルバブタン導入	
単純MRI検査	腹水穿刺排液	
造影MRI検査 (EOB・SPIO)	腹水濃縮再静注法 (CART)	
MRエラストグラフィ	腹腔静脈シャント	
肝硬度測定	セカンドオピニオン	
PET検査	肝疾患の栄養指導	
血管造影検査 (AG)	肝臓病教室	院内外可 ・ 院内のみ ・ なし
肝生検		

②【HP掲載について】 継続 ・ 削除 ※該当する方へ〆

※削除希望の場合は理由をご記入ください

③【日本肝臓学会専門医の人数】 _____ 名 (うち常勤 _____ 名)

④【埼玉県肝臓医療研修会修了医の人数】 _____ 名 (うち常勤 _____ 名)

※埼玉県肝臓医療研修会修了医とは・・・年に1回、医療従事者向けに行っている「肝臓医療研修会」の受講修了者

⑤【埼玉県肝臓医療コーディネーター】 _____ 名

⑥【埼玉県肝臓地域コーディネーター】 _____ 名



～ 貴施設における現在の状況について御回答のご協力を願います ～
※以下のアンケート項目は肝疾患HP掲載事項ではございません。

Q1、消化器内科以外の診療科を受診した肝炎ウイルス検査陽性者を受診・治療に繋げるために取り組んでいる事がありますか？

- 特に対策はしていない
 電子カルテのアラートシステムで主治医に周知
 陽性者のリストを作成し対応
 その他 ()

Q2、電子カルテを導入している施設へお伺いします。電子カルテのメーカーとバージョンは？

メーカー名 _____ ex) 富士通
 バージョン _____ ex) 7
 (わかれば)

Q3、電子カルテアラートを導入していない施設にお伺いします。
主治医への陽性者の報告手段はどのような方法で行われていますか？

Q4、陽性時の検査結果説明は？ 該当するものを〆で囲んでください
 口頭のみ ・ 検査結果用紙を交付 ・ 検査結果を文書で交付 ・ 説明していない
 陰性時の検査結果説明は？ 該当するものを〆で囲んでください
 口頭のみ ・ 検査結果用紙を交付 ・ 検査結果を文書で交付 ・ 説明していない

医療機関名 _____

住所 〒 _____

診療責任者 _____ 回答者名 _____
 ※HPへ掲載

電話番号 _____ 回答者 _____
 ※HPへ掲載 連絡先 _____

4/30(金)
〆切り

ご協力ありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒でご返送ください。何卒宜しくお願いします。

	R2	R3	R4
送付数	171	181	184
返信数	150	154	154
返信率	88%	85%	82%

質問項目：

施設で実施可能な医療行為
肝臓病教室開催の有無
専門医の人数
肝炎Coの人数
など

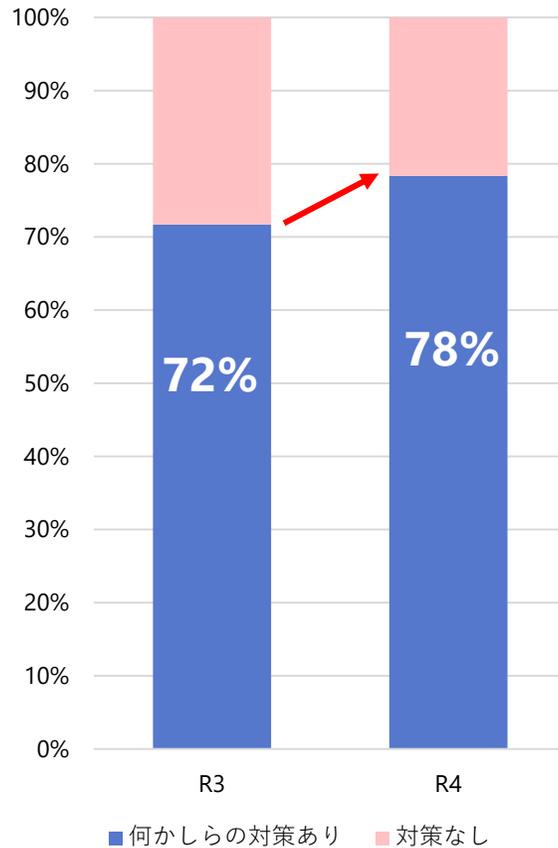
R3年度からは
肝炎ウイルス陽性者院内拾い上げの
取り組みの有無も追加

※総合病院のみ

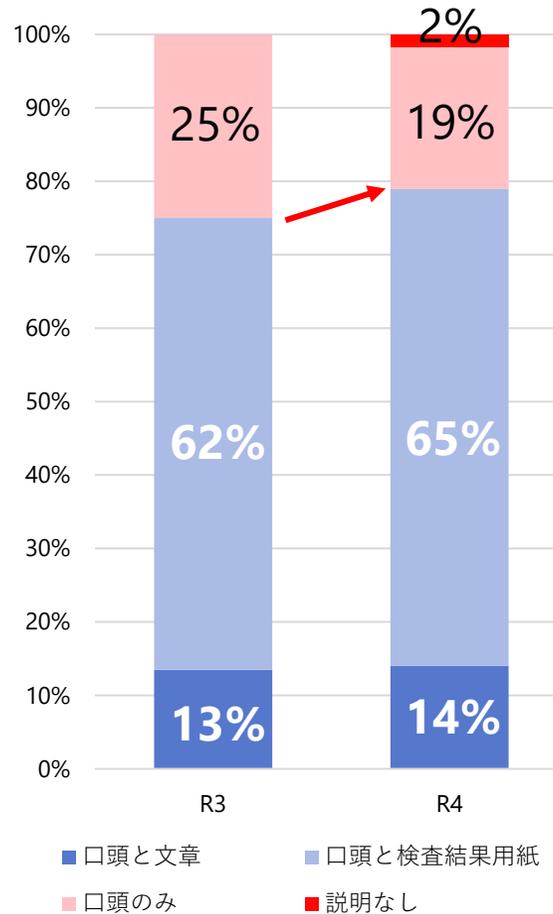
厚生労働科学研究費 肝炎等克服政策研究事業
「新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究」
代表 是永匡紹 先生

埼玉県肝疾患診療病院へのアンケート調査

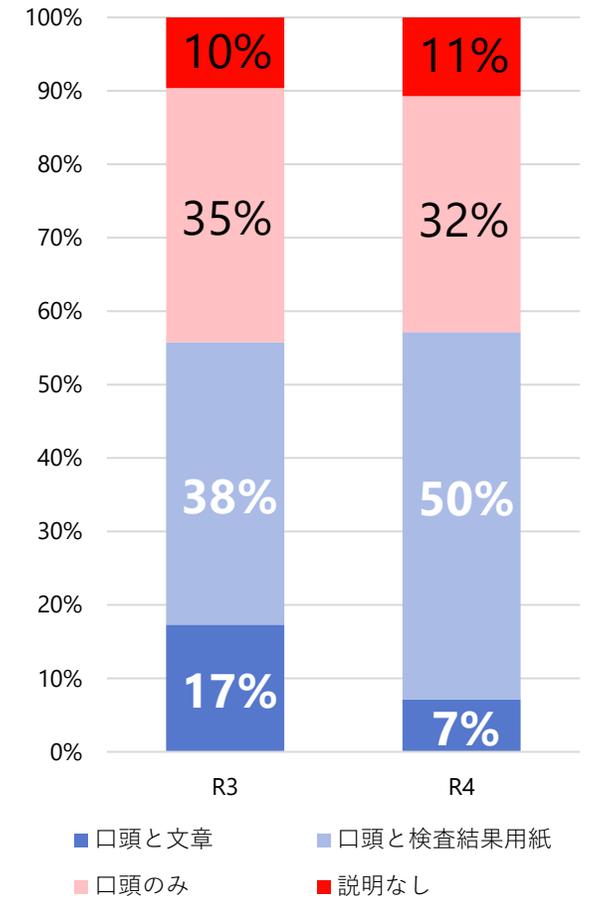
院内拾い上げ対策



陽性結果の伝達



陰性結果の伝達



今後も繰り返してアンケートを実施することで、院内拾い上げ対策の実施、口頭と文章で結果説明の頻度が上昇することに期待。

まとめ

院内の活動：

肝炎Coが中心となって肝炎対策を実施している。
肝臓病教室は現地とwebのハイブリット開催が主であるが、患者さんによっては現地参加を希望する人もいる。

県との連携：

県から一部の業務を委託の形で肝疾患診療連携拠点病院が実施。
肝炎Coが業務に係ることで、現場の意見が反映されやすい側面もある。

県内医療機関との連携：

1年に1回、肝臓専門医が常勤する医療機関へアンケート調査を実施して、HPに掲載。
アンケートを繰り返し実施することで、肝炎拾い上げ対策を実施している医療機関が増加。